

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	1-1-3		事業名	出前子育て相談事業			
担当	子ども未来局子育て支援部保育・子育て支援課 後本 211-2988						
全体計画							
事業内容	外出することが困難で、育児不安を抱えている等、家庭訪問を希望する子育て家庭に対して、保育士が自宅に直接出向き、相談に応じたり、子どもへの関わり方や具体的な遊び方についてのアドバイスをするとともに、子育て支援の制度やサービスについての情報提供を行う。			＜年度別の事業内容＞			
				19年度2区において実施。 20年度以降全市展開。			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	モデル事業として、地域環境の異なった2区(中央区、手稲区)において実施。			19年度のモデル事業としての結果をふまえ、子育て家庭に対して育児不安の軽減を図るなど、一定の効果が認められることから、保健師との連携も図りながら、全市(10区)において実施する。			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
出前相談実施区数		-	2区	10区	10区	10区	10区 (20年度)
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり 気軽に相談できるよう、さらなる周知活動等により、子育て家庭への事業の定着を図る。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	1-1-3		事業名	出前子育て相談事業			
評価(成果)			課題				
<p>実際の相談内容に対する的確なアドバイスはもとより、保育士が直接傾聴することにより、母親の育児不安、負担感を軽減することに効果があった。</p> <p>また、子育て家庭にとって、子育て相談サービスに関する選択肢が増えることは、自分の状況に合わせて選択できるという点で極めて有効である。</p>			<p>予算措置のない現状では、今後の需要が高まってきたときに、事業の継続が、困難になっていく懸念がある。</p> <p>また、各区の事業実績の検証を随時行い、より一層の事業内容の充実に向けた検討を行っていく必要がある。</p>				
今後の事業の予定・方向							
平成20年度から、全市において事業展開しており、継続していく予定である。また、需要を見極めたうえで、現行の体制のあり方等について検討していく。							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	0	660	670	670	2,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	0	660	670	670	2,000
予算	事業費	0	0	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	0	0			0
実績	事業費	0	-	-	-	0	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	0				0
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				0.0%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
(全体)							
[19年度]							
[20年度] 既往予算の枠内で対応。							